NIE特集

Newspaper In Education

毎月第2・4火曜日発行

ドキドキ小学生

米山東小

学校名　登米市立米山東小学校
所在地　登米市米山町桜岡鈴根1
電　話　0220(55)2042
校　長　熊谷　正子
児　童　186人

うきうきキャンバス

イルカといっしょに
1年・伊藤汐音

おさかなになったら
2年・北浦健佑

大物釣ったぞ
6年・芳賀雄太

習字「馬車」
5年・沼倉愛華

大すきなねこ
3年・平ひかり

ワンニャン広場
4年・倉島千智

校章「ひいらぎ」の謎を探れ！

しなやかで強い心に

知り隊

みなさんは、ひいらぎを知っていますか？　モクセイの仲間で、秋には小さな白い花が咲き、よい香りがします。米山東小の校舎の前には、大きなひいらぎの木があります。この木は学校のシンボルで、校章にも使われています。私たちは、なぜひいらぎが校木であり、校章に使われているのか、その謎を追いました。

校舎の前に立つ、ひいらぎ（左）

学校統合のシンボル

米山東小は、昨年4月に開校した学校です。桜岡小と善王寺小の二つの学校が統合してできました。しかし、不思議なことに校木はどちらもひいらぎでした。なぜ2校とも校木がひいらぎなのか、由来を熊谷正子校長先生に尋ねました。

学校の沿かく史には、明治5（1872）年に長源寺を仮校舎として桜岡小学校が創設されたことが書かれています。その後、吉田尋常小学校となり、明治25（92）年には桜岡尋常小学校と善王寺尋常小学校として独立しました。

「昔、桜岡小と善王寺小は一つの学校で、長源寺というお寺を借りて勉強していました。二つに別れるとき、長源寺からそれぞれがひいらぎをゆずり受けたので、それぞれが校木にしたのでしょう」と説明してくれました。

桜岡尋常小の卒業写真には、平屋の校舎の屋根くらいの高さのひいらぎの木が堂々とそびえて、晴れ晴れとした顔の卒業生と一緒に写真に納まっています。

ひいらぎを辞典で調べると、幹はかたくしなやかなので、しょうげきに対しても強い、とあります。2校が統合して米山東小ができるとき、「新しい時代に生きる子どもたちには、どんな時でもたくましく生きるすべと、どんなことにもじゅうなんに対応できるしなやかな心をもってほしいとの願いを込めて、今の校章に決めたんだよ」と、当時の統合準備にも携わった校長先生はおっしゃいました。

◇　◇

今、樹齢約60年ともいわれる校木のひいらぎは、校舎前の中央に、枝葉を広げて立っています。ぼくたちはこのひいらぎを目印に全校で集まったり、その木陰で休んだりします。いつもぼくたちを優しく見守ってくれているひいらぎに負けないよう、元気いっぱいみんな仲良く生活していきたいと思います。

文・岩渕磨、芳賀雄太（6年）

ひいらぎの校章

教え隊　校庭に芝生

昨年夏、校庭に植えた芝

寝転がり いい気持ち

ぼくたちの学校自慢は、校庭の半分近くに、芝生を育てていることです。昨年の夏休みに親子で植えました。学校が高台にあるので、近所に砂が飛ぶなどの環境問題があったのと、自然との触れ合いが目的でした。

芝生に座って話をしたり、寝転がったりすると、気持ちがいいです。休み時間、下級生とサッカーをして汗をかくこともあります。芝の上でやると、土の上と違った感触が楽しめます。

米山東小ならではの自慢の風景を大切にしていきたいです。

文・岡崎龍、佐藤閏（6年）

編集後記

記事を書き始めたときは不安に思っていましたが、書いていくうちに、だんだんうれしくなってきました。この活動によって、自分たちの学校のことをあらためて知ることができたような気がします。

開校1年目の私たちの学校、「米山東小学校」をこれから一年ことや校章の由来を調べた中